

編集後記

17号をお送りします。村岡倫さんを研究代表者とする科学研究費「河南・山西地区の多民族融合社会史の研究 ―石刻史料による中国地域社会史解明の試み」のNEWSLETTERとしては、2冊目となります。

今号では、新史料にかかわる論考を2編掲載できることができました。新発見の史料は当然のこととして、新しく拓本画像の利用が可能になったものも、オリジナルから石刻を讀んでいこうという我々の方針から見れば、新史料だと考えます。今後とも、中国での拓影出版が進展することを期待しております。さて、本号にご執筆いただいた、牛根靖裕さんは立命館大学の博士課程を終えられ、現在同大学の非常勤講師を担当しておられますが、我々の活動の初期の段階から、ずっと参加、協力していただいております。

なお、頁数の問題と準備不足の関係で、今号は森田の新着情報は休載させていただきます。また、目次を表紙に掲載する体裁に変えてみました。

科研の研究代表は村岡さんですが、編集は森田憲司がおこなっておりますので、本誌についてのご連絡は森田までお願いいたします。

(もりた けんじ)

13、14世紀東アジア史料通信 第17号

2012年6月発行

編集 森田憲司

発行者

日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究B

「河南・山西地区の多民族融合社会史の研究 ―石刻史料による中国地域社会史解明の試み」研究グループ

(代表 村岡倫)

連絡先

〒631-8502 奈良市山陵町1500

奈良大学文学部史学科 森田研究室

Newsletter on Historical Documents
in the 13-14th century East Asia

No.17

June 2012

Edited by
KENJI MORITA

Published by
Research Project on “the History of Multi-ethnic Societies in Henan and Shanxi Regions”
Granted in Aid for Scientific Research of JSPS, Basic Research B

Kenji Morita, Department of History, Faculty of Letters, NARA UNIVERSITY, 1500 Misasagi, Nara
JAPAN